

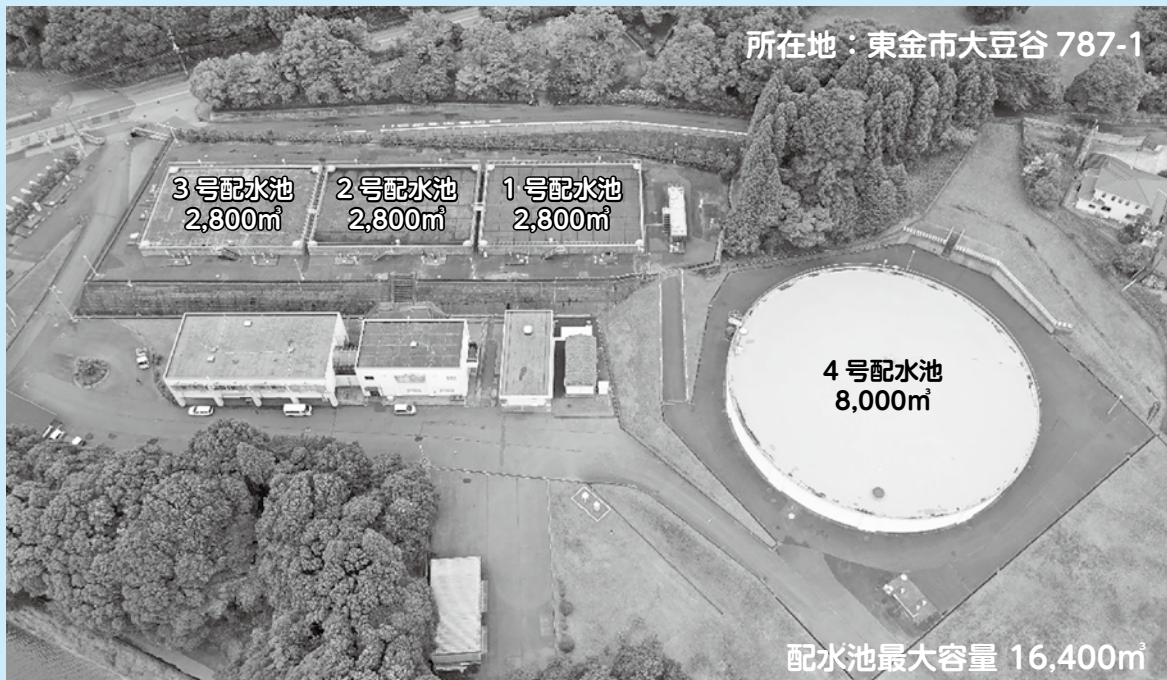


## 水道施設について ～東金配水場～

東金配水場は、東金・九十九里・成東地区のお客様へ1日約24,500㎥の水道水をお配りしております。

東金配水場には、4つの配水池があり、最大で合計16,400㎥の水道水（1号～3号配水池は各2,800㎥、4号配水池は8,000㎥）を溜めておくことができます。

東金配水場を上空から見た様子↓



### ～東金配水場の概要～

東金配水場には24時間体制の監視室があり、東金・大網・松尾配水場の施設を常時監視し、機器類等の遠隔操作を行っております。そのため、万が一配水場の設備に異常があった場合、すぐに対応することができます。

また、各配水場の施設や設備等の更新・点検・修繕業務を行うとともに、水道法に定められた51項目の厳しい水質検査を行い、安心安全な水道水を各ご家庭にお配りしております。

東金配水場の監視室↓



### ～災害対策～

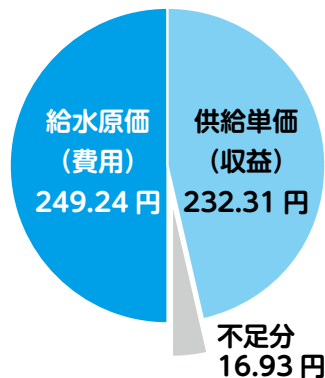
東金配水場にある4つの配水池は全てが地震動レベル2に対応しております。地震動レベル2とは「その構造物が受けるであろう過去や将来にわたって最強と考えられる地震動」のことで、昭和62年千葉県東方沖地震や平成23年東日本大震災の際も、ほとんど被害はありませんでした。

そのほか電力供給が途絶えた場合、自動的に発電機を稼働させて最低3日間発電を行うことができる自家発電設備を所有しておりますので、安定して水道水を配水できます。

## 発見 水道を取り巻く現状 Vol.3 数字で見よう。～給水原価と供給単価～

水道水1㎥あたりを作るためにかかる費用を「給水原価」、1㎥あたりの収益を「供給単価」といいます。今回は、「給水原価」と「供給単価」で山武水道の経営状況を見ていきます。

### 水道水1㎥あたりの費用と収益 (令和2年度決算数値)

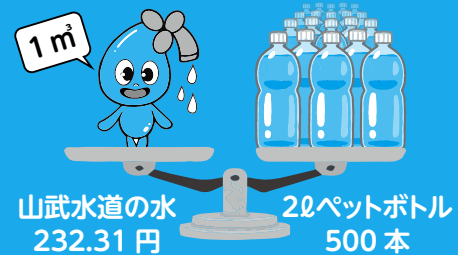


山武水道の給水原価は、遠く離れた利根川に水源を求めている九十九里地域水道企業団から浄水を購入しているため、給水区域内に豊富な水源がある他の事業者と比べ割高となっています。

地方公営企業の経営は、経費の支払いに料金収入を持って充てる独立採算が基本原則ですが、山武水道は水道事業という高い公共性に鑑み、不足分16.93円を千葉県及び構成市町からの補助金で賄うことで、現在の水道料金を維持しています。

今後も職員一丸となり、健全経営に努めてまいりますのでご利用の皆さまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

山武水道の水は、お客様に1㎥あたり232.31円で購入していただいております。



※ 1㎥ = 1,000ℓ



### 成東配水場からのお知らせ

令和3年10月18日に東金・松尾配水場系の配水区域の変更を行い、計画どおり成東配水場からの給水を停止しました。